



富山県SDGs宣言実施状況報告書



令和8年4月1日

企業・団体名 株式会社富山銀行

代表者名 代表取締役頭取 中沖 雄

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】 持続可能な地域社会の実現</p> <p>【実施状況】 ・高岡市および北陸電力株式会社と「脱炭素推進連携に関する協定」を締結。その取組みの一環として、2026年夏より太陽光発電所から再生可能エネルギーを調達する「オフサイトPPA」を導入し、当行本店への電力供給を開始予定。 ・お客さまのSDGsの取組みを支援するために、「富山銀行エコ私募債」や「富山銀行SDGs私募債」などのSDGs関連融資商品を取扱い。 ・当行福光支店を新築移転オープン。コミュニティスペースには地元産材の利用促進に向け「南砺杉」を使用した組子細工をあしらい、地産地消に貢献。 ・地域における金融教育の一環として、高岡法科大学にて寄附講義を実施。当行頭取や社外取締役らが講師を務め、多角的な視点から地域活性化への考察や金融リテラシー向上に関する講義を行い、次世代の地域を担う人材育成を支援。 ・サステナビリティに知見のある企業と連携し、省エネに向けてEMSや商材の導入を行う事業者と複数提携し、環境問題の解決を支援。また、事業承継/人材紹介・定着支援などにより地場企業の持続的な発展を支援。</p>
2	<p>【目標】 健全な経営管理態勢の確立</p> <p>【実施状況】 ・各営業店において地元警察署のご協力のもと、金融機関を狙った強盗事件を想定した「防犯訓練」および「特殊詐欺被害防止講習会」を継続的に実施。被害防止意識の醸成が進む中、当行富山支店、大沢野支店、五福支店では、還付金詐欺や架空請求詐欺、オレオレ詐欺を未然防止した好事例があり、管内の警察署より感謝状を授与される。 ・高岡警察署が作製した還付金詐欺被害防止のラミネートポップに関し、市内金融機関で構成する高岡市金融機関防犯組合との一層の連携を図るべく、当行横田支店において同ポップの交付式を実施。視認性の高いポップをATM付近に掲示することで、警察署や地域金融機関と一体となった被害防止活動を推進。 ・富山県と協働し、がん検診受診率向上コラボ作戦事業として、「がん検診受診促進週間」を設定。リーフレットによる周知や、行員の缶バッジ装着、社用車にステッカーを貼るなど、がん検診普及啓発活動を実施。</p>
3	<p>【目標】 働きがいのある職場環境創り</p> <p>【実施状況】 ・2024年に続き、2025年も新卒者初任給引き上げや若手・中堅行員をはじめとした賃金水準を向上させ、働きがいの向上にコミット。 ・「当行の企業価値向上」と「当行職員のSDGsの当事者意識向上」に繋げる観点より、「SDGsアクションプラン」制度を継続し、創意工夫に基づく取組みを表彰。 ・職員の地域貢献やスキルアップ、健康増進等に対するモチベーションを高める事を目的として、「SDGsマイスター」制度を設け、半期毎に模範となる職員を選定。 ・「アスリート採用」を継続し、アスリートの競技生活&仕事のデュアルキャリア充実をサポート。また、試合観戦企画を開催するなど、アスリート行員の活躍を全行員に周知することで、応援の機運を高め、行内の一体感を醸成。</p>

※宣言日(ウェブサイト掲載日)から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。